

平成27年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4144

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B75	水田フル活用支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費	
事業期間	平成27年度～平成30年度	根拠法令	農林水産業地域の活力創造プラン			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
						分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>平成30年産から生産数量目標を廃止するなど米政策が見直されることから、今後は作物の選択や販売先など生産者自らの経営判断が強く求められることになる。</p> <p>このため、担い手農家が自らの経営判断で需要ある作物を組み合わせ、所得を最大化できるよう経営判断を支援する情報提供等、水田をフル活用する取組を支援する。</p> <p>(1) 水田フル活用情報提供事業 1,000千円</p> <p>(2) 飼料用米等流通特別支援事業 5,000千円</p> <p>(3) 種子供給体制整備事業 12,500千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 水田フル活用情報提供事業 1,000千円</p> <p>イ 飼料用米等流通特別支援事業 5,000千円</p> <p>ウ 種子供給体制整備事業 12,500千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 水田フル活用情報提供事業 担い手の生産・販売計画の策定を支援する指標を選定するとともに、県による試験的な提供を行い効果を検証する。</p> <p>イ 飼料用米等流通特別支援事業 飼料用米等の流通を拡大するため、JAによる飼料用米等の保管に伴い、新たに発生する集荷施設のオペレーション変更等に要する経費等の一部を助成する(定額)。</p> <p>ウ 種子供給体制整備事業 水田フル活用に必要な種子を安定的・効率的に供給するため、種子生産に必要な調製施設整備を支援する。</p> <p>(3) 事業効果 担い手が主体的な経営判断で作物を選択し、収益性が高く安定的な経営が可能となる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 JA等の農業団体との連携</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) 県(県10/10)</p> <p>(2) 農業団体等10/10(県10/10)</p> <p>(3) 農業団体等等1/2(国1/2)</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	18,500	12,500					6,000	18,500	
前年額									